

ロータリー米山記念奨学会 学内応募 Q&A

2027 年度用

【ロータリーについて】

Q1:ロータリー財団ってどんな団体？

A :地域の人々の生活を改善したいという情熱をもって社会に役立つ活動に力を注いでいる人々の世界的ネットワークです。異なる職業の人々が地域でロータリークラブという会合を持ち、社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。

ロータリー財団(日本語): <https://www.rotary.org/ja>

Rotary International (English): <https://www.rotary.org/en>

Q2:ロータリー米山記念奨学会って何？

A :1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学団体です。

ロータリー米山記念奨学会 : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

【応募資格について】

Q1:誰が応募できますか？

A :2027 年4月の時点で学部3年・4年、博士前期課程1年・2年、博士後期課程2年・3年(博士後期1年は不可)に埼玉大学に在籍する私費留学生は所属する学部・大学院を問わず応募できます。

Q2:非正規生は応募できないの？

A :研究生、STEPS 生、科目等履修生などの非正規生は応募できませんが、2026 年10月または2027 年4月に修士課程に合格している者は応募できます。応募時に合格通知書の控えを提出してください。

Q3:留年生も応募できますか？

A :できます。ただし、奨学生になっても「学業成績不良により留年したとき」には奨学金が打ち切られます。そのため、支給開始年に成績不良・単位不足により留年予定の学生の応募は望ましくありません。交換留学、徴兵など、特別な理由がある場合は、『経歴書』3ページ目に休学理由、留年理由を記入してください。*「休学・留年の理由」および「留年・復学した学年」の記載方法については留学・国際交流課までご相談ください。

Q4:応募期間中、日本に入国できていない、もしくは日本を離れているため直接応募書類を提出できません。応募できますか？

A :埼玉大学在学学生に限り、申請時点で日本にいない場合でも応募は可能です。申請の際、メールに必要事項を忘れずに記入してください(詳しくは『2027 年度ロータリー米山奨学生募集』の応募方法をご参照ください)。ただし、財団面接(2027 年1月16日予定)は日本で行われますので、その時までに入国できていない場合は、辞退をして頂くことになる可能性があることをご了承ください。なお、2026 年10月または2027 年4月新

入学予定者は申請時に在日していなければ応募できません。

Q5:現在の在留資格が「留学」ではありません。「留学」でなければ応募できないの？

A :申請時に「留学」でなくても応募できますが、受給決定後に「留学」に資格変更することが条件になります。なお、合格発表は 2027 年2月中旬ごろです。

Q6:学部生の時、ロータリーを受給していました。4月に修士に進学しますが、応募できますか？

A :いいえ。在籍する課程／学部が変わっても、過去にロータリー米山記念奨学金を受給していた者は応募できません。違う大学から埼大に入学する場合でも過去受給者は応募できません。

Q7:現在、他の奨学金を受給しています。応募できますか？

A :今受給している奨学金が 2027 年3月までのものなら応募できます。

Q8:他の奨学金にも応募していて、その結果を待っています。同時に応募できますか？

A :もしロータリー以外の奨学金を優先して受給希望の場合、ロータリーへの応募はなるべく控えてください。また、ロータリーの趣旨を十分理解した上で応募してください。なお、ロータリー合格後、他の奨学金受給を理由に辞退することは望ましくありません。

Q9 日本語は読み書きできますが、聞き取りが難しく、ちょっとしか話せません。応募できますか？

A :応募書類全て日本語を手書きで書く必要があり、財団面接も全て日本語で行われます。もちろん、ていねいに申請書を日本語で書けば応募できますが、2027年1月に行われる財団面接までに最低限の日本語による意思疎通ができるようにならなければ、むずかしいでしょう。

よって、英語による学位取得プログラムに在籍する学生は、学内選考前に、日本語の事前面接を行い選考材料といたします。また、学内選考に合格し、被推薦者となっても、財団面接までに十分な日本語能力が身につけていない場合、辞退をしていただくこともあります。日本語能力の基準について、自分が応募可能かどうか分からないという方は応募前にご相談ください。

Q10:どのような学生が合格できますか？

A :財団はロータリーの趣旨を理解し、共に活動してくれる学生を求めています。下の『奨学生としての義務について』にもありますが、進んで参加するのが難しいと思う場合は、活動のない他の奨学金に応募することをお勧めします。

【申請について】

Q1:指導教員の先生からの推薦状はいつまでに提出すればよいですか？

A :推薦状に関しては、学内選考に通過した学生にのみ、後日内容をお知らせします。申請時には推薦状の提出の必要はありません。

Q2:申請書はえんぴつで記入してもよいですか？

A :いいえ。応募書類は全て留学・国際交流課より全員分まとめて財団WEB専用画面にアップロードして財団に提出します。薄いと写らない場合もありますので、必ず黒インクかボールペン(フリクション可)を使用してください。書き間違えた場合は修正テープ等を

使用してきれいに記入してください。HP に添付した記入例も併せて参照してください。

Q3:申請時に日本を離れています。応募書類をどのように提出すれば良いですか？

A :夏期休暇により日本にいない埼玉大学生に限り、事前に連絡の上メールでの申請を受け付けます。詳しくは『2027 年度ロータリー米山奨学生募集』の応募方法をご参照ください。なお指示に従って提出されなかったものは受理しないことがありますので、指示をよく読んで提出してください。

Q4:学内選考はどういった基準で選考されますか？

A :学内選考では、申請者の成績、経済状況、作文の内容などを元に選考が行われます。財団の選考目安により、より多くの国籍や学部/学年の学生を推薦できるように全体のバランスを考慮し、選考する場合もあります。また、『日本語日常会話に問題がなくコミュニケーションが図れる者』との選考基準に基づき、英語による学位取得プログラムに在籍する学生は、zoom 等により日本語の事前面接を行い、選考材料といたします。

Q5:学内選考の結果はいつ、どのように分かりますか？

A :9月中にメールにてお知らせします。学内選考通過者は、メール送信より24時間以内に確認の返信をし、次の手続きを進めてください。なお、期日までに返信のない者は辞退とみなされます。

Q6:日本を離れていて、選考結果のメールが見られませんでした。日本に戻って来てから確認の返信をしてもよいですか？

A :いいえ。必要な連絡に対して期日までに返信がない場合は辞退とみなされます。書類不備など、選考前からメールでのやりとりは頻繁に行われますので、海外でも受信可能なメールアドレスを用意し、一日に一回はメールを確認する様にしてください。

Q7:応募した学生全員が財団面接を受けますか？

A :学内選考に通過した被推薦者は、全員財団の面接を受けることになります。
財団面接は **2027 年 1 月 16 日(土)** の予定となっています。

Q8:財団面接ではどういった内容を聞かれるの？

A :日本に留学を決めた理由、研究内容(大学院生)、申請書(小論文)に記載した内容、興味のあることやボランティア経験など、自分のことをたくさん聞かれます。また、必ずロータリー財団の活動やロータリー米山奨学会に関することを聞かれます。財団 HP や、米山奨学生の先輩に活動内容を聞くなどして、財団の趣旨および活動内容をよく理解しておいてください。ボランティア経験が無い場合は、面接までにいくつかのボランティア活動に参加しておくのも良いでしょう。なお、被推薦者には、前年度合格者の面接報告書を参考としてお渡ししますので、内容を確認し、準備をしてください。

Q9:面接の練習はできますか？

A :はい。希望者は、各自十分に準備をした後、留学生アドバイザー・中本教授により本番さながらの模擬面接を12月に受けることができます。詳しくは学内選考通過後にお知らせします。

【合格後、奨学生としての義務について】

Q1:合格後、どのように奨学金を受給しますか？

A :奨学生一人ひとりに、ロータリークラブの世話クラブがカウンセラーとして配属されます。

奨学生は毎月の世話クラブ例会（平日の場合もある）に出席したときに奨学金を直接受け取ります。

Q2：例会出席のほかに何を求められますか？

A：月1回以上の例会出席のほか、2770地区の式典が年5回ほどあります。また、奉仕活動などの地区行事への参加や親睦行事などが求められ、多い月は毎週末行事がある月もあります。その他、年2回の「奨学生レポート(エッセイ)」の提出、スピーチの実施などがあります。

Q3：修士/博士で実験や研究のため多くの時間が必要で、そんなにたくさん活動に参加できません。月1回の例会にさえ出席すれば大丈夫ですか？

A：この奨学金は、ロータリーの活動に積極的に参加することが最重要となります。進んで楽しく参加するのが難しいと思う場合は、活動のない他の奨学金に応募されることをお勧めします。



この奨学金は、全国のロータリー会員の寄付金によって支援される奨学金です。経済的に奨学金を受給するのみではなく、ロータリー会員と共に活動し、日本の文化や習慣、マナーを体験する場であることを十分に理解した上で応募してください。

応募に関する質問は留学・国際交流課までお気軽にどうぞ。



埼玉大学 留学・国際交流課
ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp
TEL: 048-858-3011